

鳥屋野小学校周辺地区

(新潟県新潟市)

- 計 画 期 間 平成 18 年度～平成 22 年度
- 面 積 512ha
- 交付対象事業費 4,060 百万円
- 市人口 776,468 人

ポイント 住民が一体となり、地域の問題を解決するなど、住民参加のまちづくりを実現する。

地区概要 地区内に立地する広域行政施設を核とした商業業務機能と都市型の住機能を共有し、環境の良い住宅地としてのまちづくりを進める。

目 標 鳥屋野小学校、新潟第 2 地方合同庁舎の移転改築などによる交通量増加に対応した基幹整備を図り、地域住民の安全・安心で快適な地域環境を創出する。

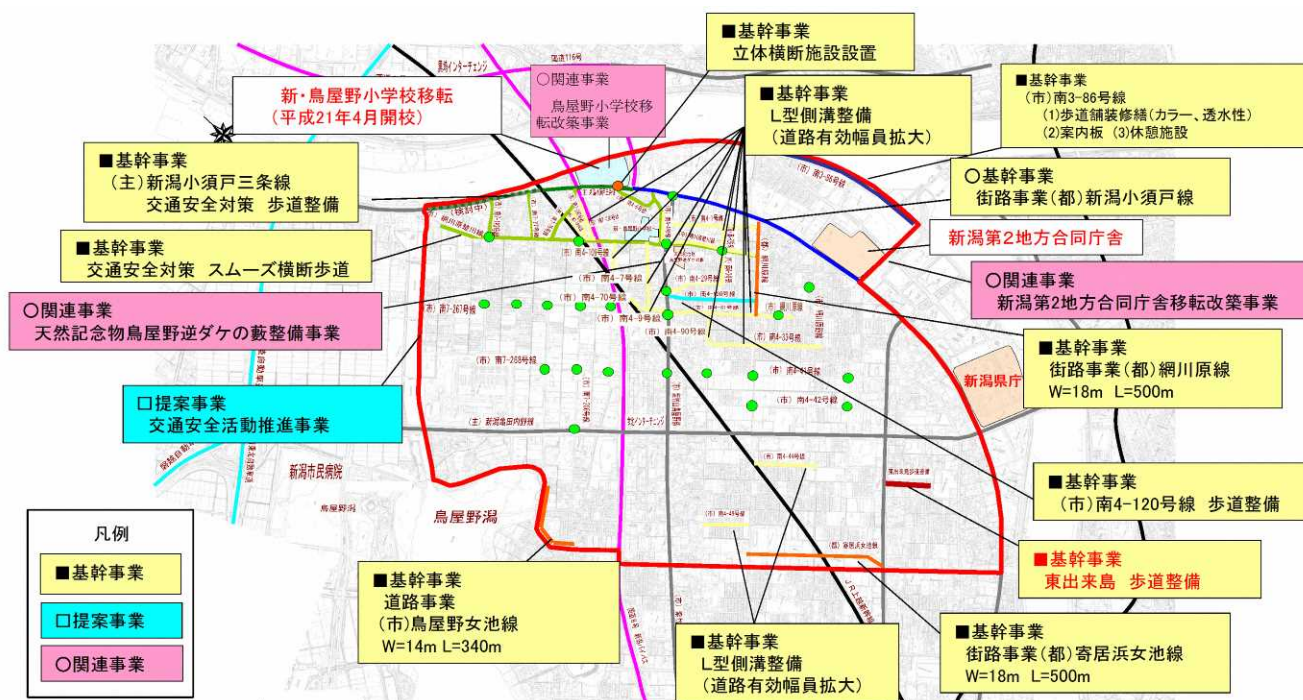
指 標

鳥屋野小学校移転などにより急速に発展する当地区の問題点を地域住民が自ら抽出し、整備に反映させることにより、誰もが暮らしやすい『まち』を目指す目標を設定し、目標を達成した。

	従前値	目標値		実績値
交通安全施設整備済の通学路利用率(%)	59	92	→	100
安全対策が必要な交差点の改良率(%)	0	100	→	100
住民満足度(%)	幹線道路:9 生活道路:2	幹線道路:15 生活道路:10	→	幹線道路:21 生活道路:8

事業内容

基幹事業 (4,045 百万円) → 道路 (街路事業 3 路線、地方道 38 路線、交差点改良 24 箇所、立体横断施設 1 箇所)
提案事業 (5 百万円) → 交通安全推進活動事業



地区の現況と課題

当地区は鳥屋野小学校移転事業や天然記念物鳥屋野逆竹藪整備事業、また、隣接する鳥屋野潟南部開発地区では新潟スタジアム、新市民病院などの整備が急速に進められる一方で、生活空間では安全性・快適性を確保するための交通安全や街路整備が不足している。

ソフト面では、高度経済成長時代において市街地化拡大に伴い、ミニ開発が進んだことにより、地域の中での世代格差があり、住民が一体となり地域の問題を解決する意識が希薄にある。



通学路における歩道整備

提案事業の特徴

交通安全活動推進事業

地域住民の交通安全への意識を高め、児童や高齢者など誰もが安心して利用できる道路交通環境を創出する活動への参加を喚起・支援する。

- ① 交通安全総点検
- ② サイン計画策定
- ③ 交通安全・防犯のかわら版やマップの作成



計画策定プロセス

鳥屋野小学校移転構想検討会の開催

学校長・PTA・地元自治会などから構成する検討会（H17年度）を6回開催し、学校と地域コミュニティの関わり方や新・通学路などの周辺環境の整備事項について検討を行った。

地元自治会の勉強会

地区内の課題のある道路については、地元自治会や沿線地権者の勉強会を3ヶ月に1回ペースで開催し、歩行者と車両が共存できる道路整備の手法について検討を行った。



児童による通学路の点検の様子



点検結果の発表